

# 南信州広域連合第10回広域連合会議 結果報告

日時：平成28年1月14日(木)16:05~16:55

場所：県合同庁舎 301号会議室

## 1 開 会…16:05

【出席者】14市町村長・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕松田副所長・細野地域政策課長補佐兼企画振興係長・棚田地域政策課担当係長

〔飯田保健福祉事務所〕寺井所長

〔飯田建設事務所〕水間所長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕田見事務局長・北原事務局長補佐兼新焼却施設整備担当専門主査

【事務局】渡邊事務局長・塚平事務局次長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・前沢庶務係主事

## 2 広域連合長挨拶

新年のご挨拶を申し上げます。年末年始は穏やかな天候だったが、最近は寒さが増してきた。皆様方も健康にご留意いただき、本年も広域連合の活動に対してご尽力いただきたい。本日も案件が多いため、効率のよい協議・報告をよろしくお願い申し上げます。

## 3 協議・報告事項

### (1) 「信州大学航空機システム共同研究講座」設立に向けたコンソーシアムについて

…資料1による説明（渡邊事務局長）

資料には先般知事に対して行った要望書の添付あり。1月6日に広域連合・広域連合議会及び産業センターの3者で要望活動を行った。また産業センターの理事会としての要望書もある。知事からは具体的な返事はいただけなかったが、担当レベルでさらに具体的な内容をこれから詰めていきたい。

資料1については、12月24日に行ったコンソーシアム設立準備会の復命書。その結論の欄に記載があるように、具体的に進めていこうという内容。その中で場合によれば、今後市町村が窓口になって一般の方からの特定目的の寄付を受ける形で、必要な資金を確保していくということも一つの方策としてあるということが話題にあがった。この点についてはまた具体的にご相談させていただく。信州大学と契約をしていくということだが、信大とすれば契約の相手方は法人ということなので、産業センターが契約の相手方になることが適当と思われる。「いきなり学科の開設ということになると、非常にハードルが高い」という話があったため、まずはサテライトキャンパスではなくて正式なキャンパス（正規の大学院）を開設してもらうことを目標として進めていくということを確認した。また航空産業ビジョン等々の話もあり、広域連合としては今までどおり「高等教育機関を設置する」ということに主眼を置いていきたい。

信州大学から改めて「共同研究講座の概要」を示された。信大工学部で実施している社会人対象コースは、現状で当地域以外に諏訪圏にサテライトキャンパスがある。当地域としては「サテライト」の文字がとれた「南信州（飯田）キャンパス」というものの開設をお願いしていく。年次計画（仮）についても改めて示されている。平成28年度に拠点整備、平成29年度から教育・研究に具体的に取り組んでいきたいとするもの。航空宇宙システム研究センター概要について、当地域は航空機システムを柱として行っていくが、諏訪圏では宇宙について取り組んでいる。航空機システム研究センター（仮）というものは南信州あるいは諏訪にオフィスを置くというイメージではなく、長野市の信大工

学部内に置くというもの。信大は「航空宇宙」という新しい分野に取り組んでいきたいということだと理解している。

コンソーシアムの規約について。現時点で(案)のため、正式にお諮らいするという段階にないが、資料としてご覧いただきたい。

「今年度内にコンソーシアム設立」ということで進めている。また経過を逐次報告していきながらご意見等賜りたい。

【質疑】(熊谷高森町長)

広域連合として平成28年度から拠点整備を進めていくということは、整備しながら使っていくということについて県が了承したという解釈でよいか。

【応答】(佐藤副管理者)

県庁として正式な答えを返すにはいろいろな手続が必要となるため、今はまだ正式な答えは出されていない。しかし「使ってよい」という方向ではあるため、それぞれの手続と並行して進めていこうという話はいただいている。

【質疑】(熊谷高森町長)

加速化交付金も使うという段取りをしているが、もし正式な答えが出ればそれを消化しなければならない。県から正式な返事がないうちに整備ができるのかどうか心配。県との調整を進めてほしい。

【応答】(佐藤副管理者)

そういった内容をお互いに認識した上で今進めている。

【質疑】(松島泰阜村長)

新聞を拝見する限り、無償で譲渡した前例はない。前例がないと難しいかもしれない。無償譲渡がベストだが、もし県から土地について幾らか出してほしいと言われたときにそこで使える備えをしておけばよいのではないか。

【応答】(佐藤副管理者)

今のところ担当部局からはそういった条件は組上になっていない。県内部でまだ詰めの段階までしていないということだと思う。もう少し進んでもし条件のようなものが出てきた場合は直ちにご相談申し上げる。

【応答】(牧野広域連合長)

単にその地域だけでしか使えないものに対しては難しいかもしれないが、効果が全県的に及ぶような施設についてはこれまでに例がないため、そこは別の考え方ができると思う。

## (2) 桐林クリーンセンターの稼働状況について

…資料2による説明(田見飯田環境センター事務長)

資料については12月に行われた竜丘地区桐林クリーンセンター連絡協議会で報告した資料。現在ごみ処理、環境測定状況について特段の問題は生じていない。今後も安定稼働に努めていく。

稲葉クリーンセンターの整備工事の進捗状況について(資料なし)。現在は工場棟・管理棟部分の地盤改良工事、ピット部分の掘削工事、建屋の資材置き場等の整地を実施中。工程計画どおりに進んでいる。特段の問題も発生していない。今後も工程管理を徹底し、計画に沿った事業運営を図っていく。

【質疑なし】

## (3) 伊那谷自治体会議の報告について

…資料3による説明(渡邊事務局長)

年末に行われた幹事会の内容報告。今年度の伊那谷自治体会議は2月に開催する方向で日程調整していきたい。当会議での話題は ①リニアバレー構想 ②リニア長野県駅の周辺整備計画 について(メインは②)。市町村においては、上伊那広域連合・南信州広域連合でお話しいただき、広域の代表から意見等いただければと思う。

資料3-2 リニアバレー構想について。赤字部分が加筆・修正した箇所。基本的に大きな変更なし。現在経済界から意見をいただいている最中で、年度末に向けて再調整を行う。今後の検討スケジュールについては資料参照。私の立場としては、伊那谷全体で取り組むべきこと・それぞれの広域連

合で取り組むべきこと・個々の自治体で取り組むべきことについて、整理をしながら進めていく必要があるということを改めて申し上げた。方向性・理念を共有することは非常に大事だが、すべてが伊那谷自治体会議の舞台上にあるものではないため、役割分担を考えながら進めていきたい。骨子からの変更点も整理されているが、基本的な理念の部分について大きな変更なし。

【質疑なし】

(4) 救急救命士の処置範囲拡大について

…資料4による説明（関島消防次長兼総務課長）

平成26年1月31日付で救急救命士法施行規則の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、救急救命士が行うことができる処置が拡大された。これまで救急救命士が医師の具体的な指示を受けて行うことができる処置については心肺機能停止後の傷病者に限られていたが、新たに①心肺機能停止前の重症傷病者に対して行う静脈路確保と輸液 ②血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与 について処置拡大された。飯伊地区メディカルコントロール分科会の要綱に基づき、医師からの具体的な指示や指導体制・プロトコールに沿った実施体制及び事後検証体制の整備を進め、現在講習を修了した8名の救急救命士が2月1日から処置拡大の実施を開始する。平成28年度には、残り54名の救急救命士に対して処置拡大に対応するための養成を計画的に進めていく。

【質疑なし】

(5) 南信州キャンペーン in 銀座NAGANOについて

…資料5による説明（秦野事務局次長補佐兼広域振興係長）

2月12日から14日まで銀座NAGANOにて開催されるキャンペーンの詳細案内。今回は各市町村の皆様へ南信州枠での出席を呼び掛けたところ、飯田市・高森町及び泰阜村に参加していただく形で計画した。2月12日の夜は、平成29年実施予定の信州ディステーションキャンペーンの取り組みの一環として、峰竜太さんを店長に迎え、JR及び大手旅行代理店の担当者呼んで南信州の紹介を行う「南信州酒場」を予定。また、県の事業として取り組んでいる南信州民俗芸能継承推進協議会による体感・講習会として、今回は「坂部の豊かな文化を味わう」と題して民俗芸能の紹介を行う。その他さまざまな催事で南信州を知っていただく取り組みを予定している。詳細は資料参照。

【質疑なし】

(6) 南信州民俗芸能継承フォーラムについて

…資料6による説明（秦野事務局次長補佐兼広域振興係長）

県の補助事業として実施している南信州民俗芸能継承モデル事業の一環として、2月21日に飯田市鼎文化センターにて「民俗芸能継承フォーラム」が開催される。リニア時代に向けて、当地域の個性・誇りとして守るべきものである民俗芸能の継承に圏域全体で取り組む意思を表明し、あるべき姿や今後の取り組みを検討する機会として実施したい。協議会から南信州広域連合・長野県及び県教委への共催、市町村及び市町村教委への後援申請を行っている。詳細は資料参照。

【質疑なし】

(7) (仮称)中央アルプス獣害対策協議会設立(案)について

…資料7による説明（渡邊事務局長）

上伊那広域連合事務局と調整しながら正副連合長会・部会長会で諮った内容。中央アルプスでもニホンジカやニホンザルによる生態系・自然環境への被害が顕著になり、上伊那広域連合ではその対策協議会を設立したいということ。当地域とすると、まだそこに加わるほどの状況ではないことから、当面は上伊那の動きを見ながら状況に応じて当地域も加わっていくという集約をした。これは木曾も関係する内容のため、呼び掛けを行っていく必要がある。当面は上伊那でそういった動きが始まるということで承知願いたい。

【質疑なし】

(8) 宮田村の最終処分場計画について

…資料 8 による説明（渡邊事務局長）

宮田村長から各市町村長宛に話があった。資料は飯田市長宛の話について情報をいただいたもの。宮田村大久保地籍に、国で定める基準値以下の放射性物質含有の焼却灰・飛灰・汚泥を含む一般廃棄物・産業廃棄物の最終処分場設置計画が進められていることに対して、当該地区及び隣接地区が反対しているという内容。資料の写真を見る限り、設置場所は天竜川に非常に近い場所で、伏流水でなくとも地下水も非常に高い場所という想定がされている。当地域においても天竜川を通じて影響が及ぶということがなきにしもあらずという状況かと思われる。当広域連合としては、現時点ではそういった話があるという状況を静観しながら情報共有させていただき、もし何か対応するという事になった場合にはその時点で相談させていただきたい。

【質疑なし】

(9) 飯田国際射撃場への補助について

…資料 9 による説明（塚平事務局次長）

国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、飯伊猟友会において飯田国際射撃場の整備事業が今年度実施された。本工事が 10 月末に完了し、11 月に竣工検査を実施した。適正に工事が完了したことを確認し、広域連合で当初予算に計上した 175 万円の補助金の支出について、現在会計手続を進めている。詳細は資料参照。

【質疑】（下平豊丘村長）

なぜ名称が「国際」射撃場というのか。

【応答】（松島泰阜村長）

国際基準になっているため。国際基準の射撃場ということ。

(10) 愛知リーガルクリニック法律事務所による無料法律相談会について

…資料 10 による説明（秦野事務局次長補佐兼広域振興係長）

例年実施している当法律事務所の無料法律相談の実施支援を今年度も行いたい。当広域連合と愛知大学の協定に基づき実施するもので、住民への法律相談の機会を提供する。詳細は資料参照。

【質疑なし】

(11) 南信州いいむす 21 登録判定について

…資料 11 による説明（秦野事務局次長補佐兼広域振興係長）

南信州いいむす 21 登録事業所の更新について。審査の結果「適合」と認められた 6 件の登録をお認めいただきたい。事前資料では最終的な取りまとめの事業所数が 61 件となっているが、「62 件」に訂正願いたい。今回、おひさま進歩エネルギー様・北原土木様については更新ではなく新規登録。

【質疑なし、承認】

(12) 後援依頼について

…資料 12 による説明（北原事務局次長補佐兼庶務係長）

資料 12-1 について…「南信州民俗芸能継承フォーラム」（南信州民俗芸能継承推進協議会）への共催の申請。平成 28 年 2 月 21 日開催。詳細は資料 6 での説明のとおり。

資料 12-2 について…「オーケストラと友に音楽祭 2016」（オーケストラと友に音楽祭実行委員会）への後援依頼。平成 28 年 5 月 1 日から 4 日まで開催。依頼内容は後援名義の使用及び P R への協力。詳細については資料参照。本事業については、平成 27 年度も後援している。

資料 12-3 について…「下伊那砂防講演会」（下伊那土木振興会・長野県飯田建設事務所）への後援依頼。平成 28 年 2 月 29 日、シルクホテルにて開催。内容については資料参照。

資料 12-4 について…「飯伊地区医療職合同就職ガイダンス」（飯伊地区包括医療協議会・医師等確保対策委員会）への後援依頼。平成 28 年 4 月 30 日、飯田女子短期大学にて開催。後援内容については PR・名義使用。本行事については平成 27 年度も後援している。

以上 4 件、ご審議願いたい。

【質疑なし、後援承諾】

#### 4 長野県

- 下伊那地方事務所…なし
- 飯田建設事務所…なし
- 飯田保健福祉事務所…なし

#### 5 今後の日程

- 2月12日（金） 伊那谷自治体会議
- 2月12日（金）～14日（日） 南信州キャンペーン in 銀座NAGANO
- 2月17日（水） 広域連合会議（301号）
- 2月21日（日） 南信州民俗芸能継承フォーラム 飯田市鼎文化センター
- 2月26日（金） 平成28年南信州広域連合第1回定例会（予定）

#### 6 その他

【熊谷高森町長】

質問…以前国の機関の誘致について手を挙げたという説明があったが、その後どうなっているか。

提案…現在国の補助金をもらってリニア整備事業を進めているが、竜西のように農地が減ってその基準を下回ると、国へ補助金を返さなくてはならないということを聞いた。その基準をクリアできるような研究（当地域についての特例措置など）を事務局で行ってほしい。

【佐藤副管理者】

飯田市は手を挙げている。今の状況としては、優先検討リストの中に入っていない。臨海地域で行っている薬品関係の試験・研究機関については、首都圏の薬品メーカー及び薬品メーカーの研究所との行き来が非常にあるため、たとえリニアで近くなったとしても現時点での状況はかなり厳しい。

【渡邊事務局長】

この件は竜西一貫水路の維持管理の問題等にも絡んでくることが予想される。地方事務所の農政担当から情報収集しながら、どんな課題があるか整理をして今後相談させていただく。

【松島泰阜村長】

移住・定住について。県が行っている移住定住フェアに泰阜村も参加しているが、全県規模の場所に泰阜村単体でも泰阜村ブースには人がほとんど寄ってこない。そこで長野県一本ではなく、ぜひ南信州移住定住フェアに南信州広域連合として出たい。全県ではなく南信州版のフェア開催を県と協議することを、平成 28 年度に向けて検討していただきたい。

【渡邊事務局長】

「こちらで魅力と思っていること」と「相手が魅力と感じる場所」をどのようにマッチングさせていくか、新年度はマーケティングの手法を取り入れて掘り下げていきたい。その成果を含めて、泰阜村長のご提案のような具体的な活動につなげていくことを考えている。また検討過程の中で意見等いただきたい。

【深津松川町長】

I ターン・U ターン等の定住促進をしていく場所として、交通会館にある「ふるさと回帰支援センター」が非常に盛況であるため、そこへ広域連合として話をするのも効果的だと思う。実際に松川町単独で年に複数回実施する中で、少しずつではあるがそれなりの効果が得られている。

【下平豊丘村長】

投網を打ったような感じになるよりは、都市部の行政体と伊那谷の広域連合が組んだほうが両方の行政同士がマッチングした話ができると思う。ニーズのギャップをクリアするには、行政同士で話ができるやり方のほうが良いと思う。

【牧野広域連合長】

それぞれの市町村で付き合っている行政もあるため、そういった案を出し合うこともありだと思ふ。

【渡邊事務局長】

やはりターゲットをどのように絞り込むかということだと思ふ。その点について一生懸命取り組む。それから交流の話を城南信用金庫を通じて品川からいただいている。品川では飯田市が商店街をやったりしている経過があるため、そういった点もひとつの核にしていく。名古屋からのアプローチもあり、いずれにしても大きなチャンスであるため、具体的に絞り込みながら手をつけていきたい。

7 閉 会…16:55